

HOYOG

教区新報

土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸 (078) 341-5949 (代)
【編集】教区基推委広報部

2004.1

138号



ウイングスタジアム

神戸ウイングスタジアムに二万人

2004年10月31日に開催

今年の秋10月31日に開催
実施が決まった、兵庫教区
御同朋総結集一万人大会に
向けた準備委員会が昨年春
の12月19日に開催された。
教区基推委を中心とした第
一号委員、各組組長と、組

代表一名との第二号委員、
130人に案内し、当日は
86人の参加となった。委員
会では大会に向けての教区
の願いである、僧侶、門信
徒がともどもにお念仏のよ
ろこびを分かち合い、御同

朋の社会実現をめざす運動
として、2001年に教区
御同朋結集二千人大会を実
施し、さらに2002・2
003年に教区内39の全組
において組結集大会を実施
して来た事を再確認した。
大西耕雲基推委副会長の

司会が進められ、大会にむ
けての現況と方向を増井浄
見基推委副会長から、また
大会会場を事務局がスクリ
ーンに映写して説明し、そ
の後の趣旨、内容、動員など
活発な意見交換があった。
確認された事として、▽会
場は一万人が集い、雨天も
実施できる所とし、神戸ウ
イングスタジアムとする▽
開催日は16年10月31日の日
曜日▽参加費、2500円
▽40人以上の乗車で3万円
のバス助成をする▽ご門主
にご臨席を頂く方向で進め
る▽基本日程案として、午
前10時から12時30分までを
受付・昼
食・オリ
エンテー
ションの
時間とし、
12時半開
会、午後
4時には
散会でき
る方向で
検討する
▽今後の
方向とし
て準備委
員会小委
員会で、
協議をか
さねて、

- ◆門中浄光(北摂組廣宣寺・青僧会会長)
- ◆山本宣昭(淡路組萬行寺・教区会議長)
- ◆中井修(播磨東組妙覚寺・門推会長)
- ◆近藤龍樹(加古川組普光寺・基推委部門代表)
- ◆池本史朗(姫路中組法性寺・少年委員長)
- ◆青木敬介(網干組西念寺・基推委部門代表)
- ◆堀正昭(揖龍西組明正寺・基推委部門代表)
- ◆中西正一(赤穂北組明尊寺・総代会会長)
- ◆帆保孝昌(朝来組極楽寺・組長副会長)
- ◆久堀弘義(神戸湊組行願寺・顧問)
- ◆西池哲俊(出石組勝林寺・顧問)

3月上旬頃にもう一度、準備委員会を開催し、4月の新年度から実行委員会として進める方向で確認。
小委員会委員としては次の役員19名が選出された。
(敬称略) ◆井上博雄(教務所長) ◆大西耕雲(安衆組教務所・基推委副会長)
◆増井浄見(赤穂北組浄蓮寺・基推委副会長) ◆杉本照美(阪神東組最光寺・寺婦委員長) ◆井上悦子(阪神南組西聖寺・仏婦委員長)
◆森本信行(阪神西組萬照寺・組長会長) ◆小林元彦(神戸東組西教寺・仏壮理事長) ◆廣岡行信(神戸中組徳照寺・基推委部門代表)



技術の進歩は、人間の夢を次々と実現させたが、同時に欲望を限りなく増大させた。自己中心的な欲望の追求は、極苦を生む源です。人間を絶対化し争いや不安を助長し、結果自己自身を見失い、生命の尊厳性をも正しく見ることができません。現実を目をやる、様々な立場に立つて損か得か、苦か楽か、利用するかされるか、目先の出来事に心奪われ、事実を見抜く心も持たず、人の顔色をうかがい、信念無く、ただいたずらに日々を送っている。個々素晴らしい人に出遇っても、組織の枠から抜け出ることが出来ない。人は集まり組織化すると、閉鎖的になり封建的になる。◆仏教の根本的な意義は、今、生きることの意味を明らかにする。この課題を宗教者は世俗的権力に迎合することなく、真実の信心に身を委ねなければなりません。「念仏は、困難な時代の諸問題に立ち向かおうとする時、いよいよその真実をあらわします。」決意新たに力強く一歩をふみ出していきなさい。

門中浄光

教区たより		2月	
2月1日(日)	若婦人のつどい	12:00~	19日(木)
2日(月)	施設訪問		管区支部矯正一泊研修会
3日(火)	連研のための研究会(第2回)	10:30~	20日(金)
4日(水)	第2回布教団布教大会		僧侶研修会 富田富士也師
6日(金)	第9回 日校指導者連続研修会	13:30~	連続研修会 池田行信師
7日(土)	まことの保育研修会		少年連盟指導者研修会
8日(日)	第一土曜仏教講座 藤榮行信師	13:30~	22日(日)
12日(木)	全国真宗青年の集い近畿ブロック連絡協議会		単位仏社会長・寺院仏社代表者研修会
13日(金)	教区門推研修会 神明組浄教寺にて	10:30~	第2回仏青定例会
15日(日)	常備会	10:30~	24日(火)
16日(月)	ふじの里もちつき大会	11:00~	ビハーク社推協合同現地一泊研修会(25日まで)
17日(火)	常例法座 藤岡良治師	13:30~	27日(金)
	別院責役総代会	15:30~	連研履修者研修会
	第3連区青年布教使研修会	18日まで	3月2日(火)
			常備会
			5日(金)
			布教団基幹運動研修会
			6日(土)
			第一土曜仏教講座 紅桜英頭師
			9日(火)
			定期教区会
			10日(水)
			組長会
			15日(日)~16日(月)
			常例法座 増井浄見師
			13:30~

本願寺より
リーフレット

浄土真宗のみ教えの3つのキーワードを、簡潔にわかりやすく説明したリーフレット。み教えの根幹に関する言葉でありながら、元々の意味と異なった使われ方を正しく「他力本願」「悪人正機」「往生」を、初めて仏教に触れる人にも理解してもらえるようにと平易な言葉で、本来の意味を説明してある。家族の会話形式で書かれているため親しみやすく、最終面には詳しい解説を掲載している。

門信徒の伝道教化には是非ご利用ください。
お申し込み・お問い合わせは本願寺出版社まで
教務所でも受け賜ります
電話
075-371-4171
FAX
075-341-7753
1部¥100

「金子みすゞの世界」
仏教からの提言 vol.1
4として「金子みすゞの世界」と題した公開講演が赤穂ハーモニーホールにて一月三十一日に赤穂南組主催で行われる。後援には赤穂北組・岡山南組・赤穂市仏教会。
講師には「金子みすゞ」の詩を現代に蘇らせた詩人の矢崎節夫氏。

2月20日 僧侶研修会
教区内の住職、僧侶を対象とした僧侶研修会が来る2月20日に神戸別院で開催されます。講師は子ども家庭教育フォーラム代表・教育カウンセラーの富田富士也氏、参加申し込みは各寺院へご案内の返信ハガキでお申送ください。
富田氏は千葉県松戸市で、不登校や引きこもりの子どもや成人、その親へのカウンセリングを行っているおられます。僧侶にとつて重要である「門信徒の心を問い、聞く」ことを、講師が進めておられる参加型ワークショップ研修を通して学んで頂きたいと考えております。

青年僧侶の会連続研修会
平成14年より行われてきた青年僧侶の会連続研修会

も2月20日第8回が最後になります。
講師には武蔵野女子大学より池田行信師、講題は「独尊と諸尊」のちの尊厳に思う。会場は本願寺神戸別院にて、参加費は2000円となります。
お問い合わせは教務所青年僧侶の会事務局まで。
仏壮研修会のご案内
平成16年2月22日(日)に神戸別院にて「仏壮単位会長・寺院代表者研修会」を開催いたします。
全寺院を対象とする教区における「壮年の集い」の実施を目的とした研修会で、講師には雪ん子劇団の雪山玲子師・武蔵野大学教授の山崎龍明師。参加費は2000円、お問い合わせは教務所仏教壮年事務局まで。

「連研読本」をデジタル化
このたび教区基推委広報部会では文書による教化活動の一環として、昭和54年に教区で発刊された教団の連研の先駆けともなった「連研読本」をデジタル化して兵庫教区教務所のホームページに掲載しております。組連研や研修会などで活用していただく上において、

- 非常に価値は高いものと思っております。今後ご意見などもお寄せいただき、より良いものを構築していきたいと考えております。
- ①兵庫教区教務所・神戸別院のトップページより(<http://www.modan-tor.jp>)
②「兵庫教区教務所のご案内」へ。③画面下「連研読本」を選んでいただきますと表示されます。
- 敬 弔**
- 島田眞月(阪神西組兼誓寺衆徒) 11月14日、76歳で往生
 - 杉本痴覚(阪神東組最光寺前住職) 11月27日、73歳で往生
 - 小笠原覺證(網干組本柳寺前住職) 11月30日、76歳で往生
 - 赤松賢秀(赤穂北組圓立寺前住職) 11月28日、86歳で往生
 - 朝倉見玄(城崎組善教寺住職) 12月8日、63歳で往生
 - 光森艶子(阪神西組常宣寺前坊守) 12月13日、79歳で往生
 - 平原照代(北摂組寶泉寺坊守) 12月23日、66歳で往生
 - 尾山みき江(養父組永照寺前坊守) 1月4日、95歳で往生
- ※1月10日現在

1・17大震災総追悼法要を厳修 本堂満堂で養老氏「いのち」の研修会

持論を熱く語られる養老孟司氏



う。6500人にわたる尊い人命を失い、家族が離散し、戦争直後の時のような悲惨な体験をしたこととございませう。

科学が万能の時代であるが、大地だけは安全と思いつているが、それをも揺れ動かす自然の力の前には為す術もないことを体験したこととです。《中略》もう一度、あの当時を思い起こすと同時に私たちの確かな依り所、阿彌陀様の大きな願いの中で共に生かされている私であることを確認し、亡き人を通してこの私が何のために生まれてきたのであるのか、どう生きるべきか、共に学ばせていただきお念仏相續させていきたいものです。

本願寺神戸別院では例年の通り「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」を厳修し、併せて「いのち」を考える研修会を開催した。

法要では正信念仏偈作法のお勤めをし、参拝者は震災で亡くなられた方を偲び焼香された。法要後は井上博雄神戸別院輪番は次のように挨拶した。「ご承知のように1月17日午前5時46分、この時間を私たちは生涯忘れられないことではないでし

話すことは仏教で説かれていたことを現在の言葉で話しているのだと感じることがあると、諸行無常や諸法無我についても先生の思いを述べられた。最後に神戸の大震災にふれ次のように話され、講演を結ばれた。

「神戸は過去に2つの大きな災害に見舞われている。1つは震災、もう1つは震災です。このうちのどちらが心の傷が深かったかという調査によると、震災の方なんです。分析しますと、震災は「せい」にする相手があった。つまり軍部だとかアメリカだとか、誰かのせいに出た。しかし震災にはそれがない。今までそれらは逆だと思っていただけに驚いた。日本は災害大国であり世界で知られている大災害の1割がここで起

きているのです。日本人はそういう自然災害に慣れているはずだと思っていたが、逆だったのです。私の最終的な結論は、「日本人は変わった」。都会の人になつた。都会は本来、自然の災害が起こらないように人工に造った処です。昔の考え方は、自然の災害は仕方がない。誰のせいにも出来なから気がおさまったのではないだろうかと思うのですが、今は誰かのせいにした方が気がおさまるといふ恐ろしい答えがでてくるのです。これが都会に生きる現代人の考え方とするならば、戦争の止まない理由が見えてきます。

私には人のせいにする社会は好きじゃない。自然の災害は人のせいには出来ないのどどのように思わないようにしようという話です。その時に自然の災害に対する我々の自身の気持ちというものを、これから先の人はどう考えるのか気になっていきます。最初申しあげた「人間死ぬもんだ」、これを書くのと「やめてくれ」と言われるんですが、これが事実なんです。そういうことをどう受け入れるかという問題、受け入れ方が時代とか暮ら

し方によって違ってくる。ですから田舎・自然と密接に對峙して暮らしている人たちは死ぬという事に對して、災害に對してあまり傷を受けないのです。都会に住む人たちはむしろ自然災害に傷を受ける。だからそういうことが起こらないように徹底的に川を溝にして、山を崩してコンクリートで固めていきます。しかし幾らやっても人間の気持ちで固めていくのは安全とは思わないのです。だからどこまでもやるのだと思います。」

また、研修会に参加された須磨区の湊さんは「震災当時に行ったボランティア経験の時と北海道で起こった有珠山噴火の時の状況の違いは養老先生のおっしゃる通り、住む場所による人の考え方の違いを感じ、法要・講演を通じて私たちの力の無さも痛感した」「震災から9年、経験や教訓をいつまでも決して風化させることなく次世代へと受け継いでいかなければいけない」と、ある企業から毎年のように供華があった。

研修会後には、イラン大地震復興義援金を募集し44,457円が、ご本山の「たすけあい募金」に送金された。

HO日誌

- ◆11月1日 第一土曜仏教法座、講師は中央仏教学院講師・日野和憲師、講題は「観無量寿經に聞く」/別院参拝、備後教区深津組光明寺仏教婦人会◆3日 団参、奈良教区三山組教宗寺◆4日 布教団、第3連区布教使研修会、和歌山にて5日まで/別院参拝、四州教区鷹峰組善福寺仏教婦人会◆5日 青僧会役員会/朝来組結集大会、生野町民会館にて、テーマは「聞く、伝えよう、阿彌陀さまの願い」所長出席、仏教讃歌など◆6日 第6回日校指導者連続研修会/別院参拝、北豊教区企救組専修寺◆7日 別院仏教婦人会定例法座、講師は赤穂北組称念寺・瀬川慎師◆8日 仏壮幹部1泊研修会、別院にて9日まで/別院参拝、本願寺高松教堂◆10日 第2回矯正公開講演会
- ◆別院ホールにて政治評論家として活躍の中村鋭一氏を講師に迎えて第2回矯正公開講演会を開催した。開講にあたり小松勝昭副支部長より矯正の案内があり、中村氏から「陽気に元気に

兵庫教区少年教化活動40周年記念 震災支援「報恩講子どもバージョン」

兵庫教区少年教化活動四十周年記念行事の一環として、二〇〇三(平成十五)年十二月二十六日(金)に「震災支援報恩講子どもバージョン」が兵庫教区教務所にて開催されました。「震災支援報恩講子どもバージョン」としては、今年で9回目を迎え、参加者は例年より多く約300人で、盛大に開催されました。少年連盟のイメージキャラクター、プトリとプトラもやって来て、子ども達に大人気でした。また、夏に開催された「ときめきサマースクール」で出会った友達やスタッフと再会して感激した子供もいました。

オリエンテーションの後、いよいよ報恩講のお勤めです。荘厳な雰囲気の中、参加した子供達による献灯・献華・献香・献供(つきたての餅)の入堂。その後、正信偈草譜をお勤めしました。ご法話は、井上教務所長から、いつも見護ってくださいている阿彌陀様についてのお話をいただきました。お昼の模擬店のメニュー



プトリとプトラと子どもたち

は、やさそば、からあげ、カレー、とん汁、ソースせんべい、わたがし、餅です。そして、スーパースポーツくいで楽しみました。

アトラクションは、糸あやつり人形劇団「みのむし」(尼崎)の「花咲かじいさん」でした。人形の動きに皆んなびつくり、そして大笑い。最後には人形の動く仕組みを見せてもらいました。

「ビンゴゲーム」はみんなエキサイト!最後の人のビンゴが揃うまでやりました。ビンゴゲームの後には「ジャンケンゲーム」をしました。

「また会おうね」と、子ども達を見送りました。開催するにあたり、前日からスタッフが集まり、当日行われる模擬店やビンゴゲームの準備を行いました。また、参学会、門徒推進員会、教区仏徒連盟、教区仏青連盟、青年僧侶の会、(株)浜屋の皆様方のお力添えをいただき、無事開催することができました。有り難うございました。

幸務清子

「生き生き」との講演をいただいた。◆11日 総代会岡山ブロック研修会、岡山南組西方寺にて◆13日 基推委社会対応部門会議◆15日 別院常例法座、講師は神姫組泰法寺・道元徹心師、講題は「涙に宿るみ仏」16日まで◆16日 阪神西組結集大会、西福寺にて、テーマは「み教えとお寺とわたし」豊原大成師・仏教讃歌など/別院参拝、大阪教区南都組仏教壮年会・山陰教区神門組乗光寺・願立寺・知西寺・明源寺念仏奉仕団◆18日 仏婦近畿大会、京都にて◆19日 山口教区都濃西組総代会◆21日 矯正、加古川学園収獲祭◆22日 別院参拝、大阪教区河内組光明寺・大阪教区島中組信楽寺・備後教区沼隈南組法藏坊◆25日 基推委、企画常任委員会◆27日 神戸別院報恩講、講師は石川教区鹿島組明泉寺・櫻井瑞彦師、29日まで

本願寺神戸別院では、十一月二十七日(木)の連夜法要から二十九日(金)の満日中法要までの八座、恒例となる報恩講を勤修された。

講師に櫻井瑞彦師(石川教区鹿島組明泉寺)をお願



寺族婦人会によるコーラス隊

昨年引き続き、二十七日(木)の連夜法要、二十八日(金)大連夜法要の終了後一階ホールにて、開催した「チャリティーバザー」は、大盛況となった。

バザーと並行して、隣のホールでは、お斎接待を行った。別院仏教婦人会の方々が、朝早くから準備をしていただき参拝にいられた皆さんの分のお斎をご用意してくださった。

この度の報恩講では兵庫教区寺族婦人会の方々のコーラス隊による、仏教讃歌の合唱を法要終了後、三日間に渡り披露していただいた。「報恩講のうた」を皆さんと一緒に歌い、法要を締めくくった。

◆30日 別院参拝、滋賀教区栗太組円徳寺参拝団/江並教堂報恩講

◆12月2日 第7回日校指導者連続研修会/豊岡教堂報恩講、3日まで/第1回

教務所長会、本山にて◆3日 布教団役員会/布教使育成研修会/別院参拝、備後教区三次組光西寺仏婦◆4日 組長会/教区相談員中央研修、本山にて5日まで◆5日 保育理事会◆8日 寺婦、正信偈連続講座◆9日 仏婦、単位会会長研修会◆11日 基推委同朋運動部門会議◆12日 基推委門徒会運動部門会議◆13日 まことの保育研修会◆14日 仏壮理事會/別院参拝、大阪教区東成組真宗寺仏婦◆15日 別院常例法座、講師は神戸東組西念寺・副高朗師、講題は「家庭を基に」16日まで◆17日 門推三役会◆19日 教区一人総結集準備委員会◆20日 スカウト仏教草習得講習会◆22日 基推委連研部会◆24日 門推幹事會/青僧会連続研修会、講師は宮崎幸枝師◆26日 報恩講子ども集い◆31日 除夜会

◆1月1日 元旦会

本願寺神戸別院では新年1月1日午前7時より元旦会を厳修した。

法要後、参拝者と祝杯をおあげた。「去年同様、今年もお参りに来れたことがうれし」「本年もどうぞよろしく」と参拝者。